

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

①事務事業名		部課コード		081101	TEL	2991-1812	
事業コード		担当部課		健康管理課			
081107		このころの健康づくり普及啓発事業		グループ			
開始年度		平成 8	年度	→	終了年度	年度	このころの健康支援室

②事業の概要	事業の種類	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ 法定受託＋附加			根拠法令		
	分野別計画・指針				精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (昭和25年5月法律第123号)		
	関連・類似事業						
	総合計画の体系	章	健康・福祉	節	保健・医療	基本方針	このころの健康づくりの支援
	事業開始の背景	本事業は、平成8年度から埼玉県 (所沢保健所) との共同、共催事業として開始したが、平成14年度の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の改正に伴い、市の所管となった。					

③事業の内容	目的 (どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)					
	精神障害及び精神障害者に対する正しい知識の普及を図り、精神障害者及びその家族が健やかに暮らせる地域社会づくりを推進する。					
	対象 (誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 26 年度	343,067 人
	一般市民、障害当事者、その家族及び関係機関の職員並びに関係団体等の利用者				平成 27 年度	343,321 人
	事業の具体的な内容及び実施方法					
市民に対して、広く心の健康や疾病、精神障害者に対する正しい知識を普及するための講座や作品展示を実施。 また、精神障害をもつ当事者やその家族に対して、疾病について理解を深めるための講座やつどいを実施。 ①このころの健康講座 (発達障害・高次脳機能障害等) を開催。 ②精神疾患を治療中の本人とその家族を対象とした講義 (統合失調症・高次脳機能障害) を開催。 ③精神障害者による作品展示「このころの美術展」 (市民ホール) を開催。 ④精神障害者の「つどい」 (強迫性障害のつどい、発達障害家族のつどい) を開催。						

④経費	＜会計種別＞	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		689	516	1,107
	決 算 (見込み含む)		618	465	
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.00 人) (0.00 人)	(0.00 人) (0.00 人)	※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	正規職員人件費	1.80 人	15,698	1.25 人	10,825
	事業費合計		16,316	11,290	
	財源内訳	一般財源	16,316	11,290	1,107
	国・県支出金	0	0	0	
	その他 ()	0	0	0	

⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	参加者数	講演会等の参加者数	人	1,148	987	1,000	1,500
		開催回数	講演会等の開催回数	回	50	53	50	70

⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	参加者数	講演会等の参加目標人数に対する参加実人数	目標値	1,500	1,500	1,100	1,500
				実績	1,148	987	☒ 実績拡大図る ☐ 実績縮小図る	
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	77	66	↑どちらかをチェックしてください	

⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点 (改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	講演会、各種疾患のつどいの開催については広報だけではなく医療機関や福祉事業所等への周知を行なった。また精神保健相談事業等においても周知を行なった。	性同一性障害や若年性認知症などの精神保健の新たな課題となるテーマを選定し講演会を行なったが、予想よりも来場者数が伸びなかった。

⑧評価	評価	☒ 継続 ☐ 終了	事業実施方法 (複数選択可)	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 改善・効率化 ☒ 現状維持 ☐ その他	理由	精神障害の発生の予防が困難であるため、一般市民向けの講演会や、当事者・家族を対象とした正しい知識の普及啓発は必要である。
	評価		次年度予算	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持	理由	市民に対してこのころの健康について効果的な普及啓発が可能となるよう改善していく。
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性		
	統合失調症、強迫性障害、高次脳機能障害等に関する講座や講演会の実施について準備を進めている。			社会情勢を鑑み、統合失調症やうつ病などの狭義の精神障害の問題だけではなく、幅広く精神保健に関する普及啓発を行なっていく。		
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	健康管理課長 瀬能 幸則			

⑨環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書の作成	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無